

長年の母子保健活動に 表彰状

姫野晶子保健師に母子保健奨励賞

町健康福祉課の健康増進係長で保健師の姫野晶子さんが、第33回母子保健奨励賞(母子衛生研究会主催)を受賞しました。

母子保健奨励賞は、1979年国際児童年を契機として、毎年全国各地で母子保健の発展向上に寄与し、その業績が顕著であり、将来も引き続きすぐれた活躍が期待できる個人15人に対して贈られているものです。姫野係長は、入庁以来29年間にわたり、子育て支援や児童相談体制の整備など、

地域に密着した多くの取り組みが認められ、表彰を受けました。

表彰式典は、昨年11月25日に東京で行われ、前日の24日には、東宮御所へ参内し、皇太子殿下から一人一人がお祝いと激励のお言葉を賜りました。

同係長は、「いただいた賞を励みに、これからも同僚や関係者の皆様と共に、親子が笑顔でいきいきと輝いている生活が実現できるように、取り組んでいきたい」と話しています。



母子保健奨励賞を受賞した姫野保健師



表彰を受けた山田所長(写真右から2番目)

防火意識の普及・啓発活動に 県知事から表彰状

町立第5保育所の山田千代子所長

日ごろの防火意識の普及・啓発活動に対し11月11日、県庁で、町立第5保育所の山田千代子所長に対し、熊本県知事から表彰状が贈られました。

「幼年消防クラブ指導員表彰」を受けた山田所長は、昭和60年6月の高遊原消防組合幼年婦人防火委員会

発足から現在まで、保育士として幼年消防クラブの発展に寄与し、クラブ員である園児たちの防火教育に努めてきました。

受賞した山田所長は、「これからも、子どもたちには火の便利さ大切さと同時に、怖さを教えていきたい」と誓いを新たにしています。

干支の龍や羽子板など 力作がズラリ

木目込み人形作品展開催

水上みなえ講師が指導する公民館自主講座「木目込み人形教室」(高木三代子代表、14人)の作品展が、11月18日から20日にかけて、ミナテラスで開催されました。

3回目。展示スペースには、細かい飾りを施した干支の龍や日本人形、羽子板など70点の力作が並び、来場者の目を楽しませました。高木さんは「いくつになっても続けられるのがこの教室の魅力。これからも地道に良い作品づくりに励みたい」と話しています。



華やかに並んだ作品の数々